

# 普及だより



## 地域の課題解決に向けて

農業水産振興課では、時々の地域課題をピックアップし、3年間の普及指導計画を定め課題解決に取り組んでいます。令和2年度は、平成30年度に設定した課題の最終年度になり、これまでの取組を総括するとともに、令和3年度からの新たな課題設定に向けた準備期間となる重要な年になります。

現在取り組んでいる課題は、重点課題として「次世代につなぐ下津みかん産地への取組」、一般課題の「ショウガの安定生産に向けた取組」と「新たな新規就農支援体制の構築」の3課題となっています。とりわけ重点課題については、全国的に他業種でも問題となっている労働力確保や地域の特徴的な農業形態となっている貯蔵みかん生産で重要となる優良系統の探索等を計画に取り入れ、産地を維持し次世代に継承していく取組を進めております。

一方、最近では「スマート農業」という言葉を頻繁に聞くようになり、ドローンや自動環境制御ハウス等を活用して作業の効率化や農業従事者の負担軽減などを進める動きが出てきております。階段畑での果樹経営や小規模な水田や畑作経営が多数を占める管内の農業形態では、本格的な普及にはしばらく時間がかかりそうですが、試験研究機関において本県の農業形態に対応したスマート農業の研究が始まっていますので、和歌地域でも新たな普及課題設定も視野に入れ、農業現場への導入を検討していきたいと考えております。

今後も、農業現場での課題解決を第一として職員一丸となり取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 普及指導課題の取組経過

## 【重点課題】

### 次世代につなぐ下津みかん産地への取り組み

下津みかん産地を次世代につないでいくため、農業者と関係機関が一体となって産地活性化に向けた活動に取り組んでいます。

#### (1) 将来ビジョンの共有化

昨年度作成した「下津の将来ビジョン」の内容について、産地の課題等を交えながら農業者団体等に説明した結果、下津地域内の多くの農業者が産地の危機を実感するとともに、産地活性化に向けた前向きな意見が多数出され、次世代に産地をつないでいくための「将来ビジョン実行計画」を作成することができました。

#### (2) 魅力ある園地へのチャレンジ推進

農業士会主催で栽培技術や園地省力化に関する研修会を開催することで、農業者の栽培技術向上に務めました。また、貯蔵みかん優良系統見本園の設置や貯蔵調査を実施するとともに、農業者を交えた食味評価検討会を開催し、有望系統の絞り込みを行いました。

#### (3) 選ばれる産地の体制づくり

海南・下津農業の将来を考える取組ワーキングチームで労働力確保対策について検討し、「援農者(アルバイト)受入の心得」、「援農者の心得」を作成、対象者に配布し周知を図りました。

#### 今後の取り組み

下津の将来ビジョン実行計画の実践を地域内農業者に幅広く呼びかけるとともに、普通温州優良系統の選定や労働力の確保について一層取り組んでいきます。



栽培技術現地研修会



優良系統食味評価検討会

## 【一般課題】

### ショウガの安定生産に向けた取り組み推進

和歌山市の新ショウガ産地では、種ショウガのほぼ全量を県外産地から購入しています。しかし、近年、気象等の影響で生産量にばらつきがあり、安定確保が課題となっています。そのため、種ショウガの一部自給を目指し、関係機関が協力して和歌山市内での種ショウガ栽培をすすめています。

令和元年には、和歌山市内産の種ショウガから新ショウガを栽培し、生育や収量に問題が無いことを確認しました。また、種ショウガ生産圃場を毎月巡回し、栽培支援を行いました。今後も、種ショウガ栽培面積の拡大に取り組んでいきます。



種ショウガ現地検討会

## 【一般課題】

### 新たな新規就農支援体制の構築と多様な担い手の育成

産地の維持発展のために、担い手を育成することは重要であり、就農者の多様なニーズに応えるために、就農段階に応じた支援を行っております。また、新規就農希望者の受入体制の整備も重要と考え、令和元年度は、以下の取組を行いました。

- 新規就農者や女性農業者のスキルアップへのサポート  
→新規就農者研修会や女性農業者交流会の企画、実施
- 和歌山県4Hクラブ連絡協議会の運営サポート  
→クラブ員と一般女性との交流会の開催等
- 市町の就農相談窓口対応マニュアルの作成



みかん収穫体験交流イベント

# 受賞おめでとうございます！

## 【和歌山県農林水産業賞】



岡本 芳樹氏(海南市)

貯蔵果実の最適な成熟環境を研究するなど、蔵出しみかんの品質向上に努めてこられました。また、JAながみね下津柑橘部会長や「しもつみかん」をPRする地域ブランド連絡推進会議会長を歴任し、販売促進活動を積極的に行うなど、地域農業の発展に貢献されました。

## 【和歌山県農林水産業賞】



山崎 豊氏(和歌山市)

遊休農地を積極的に借り入れ農地として再生し、ハクサイやブロッコリー等の露地野菜を中心とした生産を行い、規模拡大を進めてこられました。現在、設立した農地所有適格法人の代表として企業家目線の農業経営を展開しており、地域農業の活性化に貢献されています。

## 【女性、高齢者グループの生活・生産に関する表彰 知事賞】



げんき大崎(海南市)

げんき大崎館かざまちにおいて、手作り弁当、地元農水産物の販売や食の体験イベントの開催、移住支援などに取り組み集落の活性化に貢献した活動が評価されました。

## 【和歌山県食育推進表彰】



「野菜でげんき・和歌山」応援隊  
(和歌山市)

毎年、やさいの日にあわせて「野菜フェスタ」を開催し、野菜を食べる重要性を多くの消費者に伝える取り組みが評価されました。

## 【和歌山県青年農業者会議 優秀賞】



志賀 友哉氏(海南市)

経営品目が異なる和歌山地方4Hクラブのメンバーであれば繁忙期に労働力を融通し合えるのではないかと考え、1年間のワークシェアリングを行った取組が評価されました。

## 農地中間管理事業 ～農地の「貸したい」、「借りたい」をサポートします～

農地を貸したい農家：

高齢のため農業が辛くなった、後継者がいない

農地を借りたい農家：

まだまだ若いし、規模を拡大しバリバリ農業をやっていきたい

農業公社(農地中間管理機構)を通じて担い手へ農地を集積し、  
農地を活かしましょう。

(メリット)

- ・農地を貸したい方と借りたい方の間に農業公社が介在するので、安心して貸し借りが出来ます。
- ・賃貸借の場合、賃料は農業公社が回収するので手間いらず。
- ・借り受け農地の所有者が複数の場合でも、契約は農業公社とだけで済みます。

遊休農地のリフォーム応援します。

遊休農地を長期に借り入れもしくは買い入れての農地集約をお考えの方は一度、ご相談ください。

農業公社を通じて、上記手続きを行って頂くとその解消作業を公社が支援できます(要件あり)。

リフォームとは、樹木伐採、園地修復(園内道、石垣、水路)などを指します。

支援対象者：担い手農家(認定農業者等)



要件等詳細のお問い合わせは、各JA、各市町農業委員会、海草振興局農業水産振興課まで！

経営管理能力を高めたい農業者の皆様へ  
**わかやま農業MBA塾のご案内**

わかやま農業MBA塾は、経営管理、財務管理、労務管理、マーケティング、その他経営力の向上に資する講義やグループワークを通じて、受講生同士の繋がりを深め、自らの経営計画を策定することで、農業経営の発展を支援します。

**第2期（2019年度）の開催概要**

- **受講生** 21名（20才代～50才代）
- **期間** 2019.7.16～2020.2.10まで 全10回
- **主なカリキュラム** 経営管理、労務管理、財務管理、マーケティング、先進農家視察

**第3期生（2020年度）募集について**

- **受講期間** 2020年8月～翌年3月 計10日間の講義を予定。
- **募集** 詳細は、準備ができ次第公開。（2020年6月頃の予定）
- **受講料** 2万円程度を予定しています。
- **定員** 20名（申込多数の場合は選考する場合があります。）
- **受講対象者**
  - ・和歌山県内の農業従事者
  - ・就農年数が概ね5年以上
  - ・青色申告の知識があり、自らの経営や地域の発展に意欲のある者

**クビアカツヤカミキリに注意！！もも・うめの樹を食害します！**

令和元年11月、県内で初めてかつらぎ町のもも園地において、クビアカツヤカミキリの被害が確認されました。幼虫はもも・すもも・うめ等のバラ科樹木の内部に食入し、食い荒らす害虫で、繁殖力が非常に強く、大発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。

クビアカツヤカミキリが加害した樹には、大量のフラス（木くず・幼虫の糞などが混じったもの）が溜まっていたり、うどん状のフラスの排出がみられます。

もも・すもも・うめを栽培されている方は、畑をよく見回り、フラスを確認した場合は農業水産振興課までご連絡下さい。



クビアカツヤカミキリ  
 (提供：大阪市立自然史博物館)



↑うどん状のフラス

←株元に溜まったフラス



～令和2年度人事異動による転出入についてお知らせ～

転出			転入		
旧職名	氏名	新職名	旧職名	氏名	新職名
部長	上野山靖司	県果樹試験場 場長	西牟婁振興局 農林水産振興部 副部長	藤木則博	部長
課長	小畑利光	西牟婁振興局 農林水産振興部 副部長	農業生産局経営支援課 担い手育成班 班長	宮向克則	課長
主任	井沼秀計	農林水産生産局 食品流通課 主任	県農業大学校 就農支援センター 主任	川村和史	主任
主任	大橋真人	県農林大学校 就農支援センター 次長	農業生産局果樹園芸課 技師	岡野樹	副主査
技師	佐々木規衣	農業生産局果樹園芸課 技師	新規採用	田端佑哉	技師

**若手職員紹介**

平成31年度新規採用の伊藤と申します。仕事は主に4Hクラブに関する仕事を担当させていただいています。右も左も分からない中、先輩方に支えてもらいながら日々奮闘しております。まだまだ知らないことばかりですが、1日でも早く皆さまのお役に立てるように、頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

